

2024年4月9日

課題名：間質性肺炎患者における入浴動作中の労作時低酸素血症と  
6分間歩行試験の関係性についての調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、間質性肺炎患者さんの入浴動作中の労作時低酸素血症(SpO<sub>2</sub>値の低下)を調べています。この調査では、シャワー・入浴動作中にSpO<sub>2</sub>値がどの程度低下するかを調べます。また、6分間歩行試験(6分間連続で歩行してSpO<sub>2</sub>値の低下を調べる検査)との関連性も調べます。これらを明らかにし、今後のよりよい診療・リハビリテーションを行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2022年4月から、2024年3月までの間に、間質性肺炎であると診断され、当院呼吸器内科へ入院された方。このうち理学療法士および作業療法士によるリハビリテーション介入を行い、作業療法士による入浴中の評価が行われた方。

◆研究に使用される情報◆

患者ID、性別、年齢、入院日、退院日、疾患名、既往歴、body mass index (BMI)、握力、膝伸展筋力、理学療法介入有無、作業療法介入有無、喫煙歴、short physical performance battery (身体バランスの検査)、6分間歩行試験の結果(評価日、使用した酸素流量、歩行した距離、最小のSpO<sub>2</sub>値、息切れの程度)、入浴・シャワー評価の結果(評価日、シャワー中のSpO<sub>2</sub>値、入浴の所要時間)、人工呼吸器管理有無、退院時のfunctional independence measure (FIM 機能的自立度評価法)の運動項目および認知項目合計と入浴動作項目の点数、MMSE (認知機能の評価)、肺機能検査の結果、在宅酸素療法の情報、入院中の人工呼吸器またはhigh flow nasal cannula (高流量鼻カヌーシステム)の使用有無、治療内容(ステロイド・免疫抑制剤・抗線維化薬などの使用有無)

◆情報の研究利用開始日◆

2024年5月7日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)からの情報を利用します。

---

\* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 倉田和範

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明